

令和5年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	3 学年 選択	教科	公 民	科目	政治・経済	単位数	2 単位
教科書	最新 政治・経済 新訂版 (実教出版)			使用教材	最新 政治・経済資料集 2019 新版（第一学習社） センター試験対策問題集ステップアップ政治・経済（第一学習社）		
授業 担当者名	佐藤 英明						

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	第1編 現代の政治 4章 現代の国際政治 1. 国際社会と国際法 2. 国際社会の変化 3. 国際連合と国際協力 4. 第二次世界大戦後の国際政治 5. 冷戦終結後の国際政治 (第3編 8. 人種・民族問題) 6. 軍拡競争から軍縮へ	・国際社会の構成と変化、国際法の役割とその限界について理解させる。 ・国際連合の役割と組織、その課題について理解させる。 ・冷戦体制の成立から終結に至る流れを理解させ、冷戦終結後の国際社会の変化と、その後の国際政治の動向を考察させる。 ・地域・民族紛争と難民問題の実態を学ばせる。 ・軍拡から軍縮への流れと課題を考察させる。	1 4
	期末 考 査	5章 日本の平和主義と国際平和 1. 平和主義と自衛隊 2. 日米安全保障体制の変化 3. 21世紀の平和主義 4. 日本の外交と国際社会での役割 第2編 現代の経済 3章 現代の国際経済 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ	・日本の平和主義と自衛隊と関係について基本的な知識を整理させる。 ・日米安全保障体制の変化について、多様な論点と異なる評価が存在することに気づかせる。 ・日本の外交の特徴とわが国のこれからの国際貢献の在り方を考えさせる。 ・自由貿易の理論、国際収支表の各項目および日本の国際収支の特徴を理解させる。 ・外国為替のしくみを理解させ、為替レートがどのような要因で変化するのか考えさせる。	1 4
二 学 期	中間 考 査	3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 国際経済の動向 (1) 5. 国際経済の動向 (2) 6. 発展途上国の諸問題 7. 経済協力と日本の役割 (第3編 9. 経済格差の是正と国際協力) (第3編 10. 国際社会における日本の役割)	・GATT体制とWTO体制を理解させる。 ・FTAなど地域主義の動きを理解させ、TPPのメリット・デメリットを考察させる。 ・南北問題、南南問題の現状と課題を理解させ、問題解決に向けた各国の取り組みについて考察させる。	1 4
	期末 考 査	第3編 現代社会の諸課題 1. 地域社会の変貌と住民生活 2. 産業構造の変化と中小企業 3. 農業と食料問題 4. 雇用と労働をめぐる問題 5. 少子高齢社会と社会保障 6. 地球環境問題 7. 地球環境と資源・エネルギー問題	・現代社会において解決を求められるさまざまな課題を概観し、その論点を整理した上で問題解決への道筋を探らせる。 ・必修「政治・経済」の授業で十分に扱うことができなかった内容を、復習も兼ねて補足する。	1 4
三学期		総合問題演習	・センター試験80点、私大一般70点を目標に問題演習を行う。 ・計算問題に特化した演習も行う。	1 4
時数合計				7 0

評価の 観点・方法 と	・評価の観点；政治・経済のさまざまな問題に興味・関心を持ち、それぞれ理解を深めることができたかどうか。 ・評価の方法；授業中の学習態度、小テスト等によって総合的に判断する。
-------------------	---